

沖繩県護国神社社報

# うむい26号

社報「うむい」について

沖繩の言葉で「想い、願望、考え、所存」のことを「ウムイー」といい、戦争で亡くなっていった人達の思い、そして残された遺族、戦友達の想いを次の世代へと継承すべくつけられた名前。

日清戦争以後、敢然と国難に立ち向かっていった先人たちの尊い精神が、この「うむい」を通して末代まで受け継がれ、真に戦争の無い平和な世の中になるようにとの願いが込められている。

公益財団法人 特攻隊戦没者慰霊顕彰会 奉納  
「あ、特攻」勇士之像

沖繩を護るため、航空機による空の特攻、戦艦や特殊潜航艇による海の特攻、爆雷を用いての陸の特攻で散華されたすべての特攻戦没者、並びに戦地に赴き特攻にて散華された沖繩県出身の戦没者を永久に顕彰する

関連記事 P10







### 御代替わりに際し 今上陛下と沖繩について

沖繩県護国神社責任役員(副会長)  
前沖繩県遺族連合会会長 照屋 苗子

政府は四月一日、「平成」に替わる新元号を「令和」と決定しました。皇太子殿下が新天皇にご即位される五月一日に施行されます。

あの地獄のような戦争のない御代になるよう「和」の文字に期待したいです。

両陛下が初めて沖繩をご訪問されたのは皇太子時代の昭和五十年七月十七日から十九日にかけての沖繩海洋博覧会の開会式でした。それ以後、平成五年四月二十三日から二十六日にかけて、御即位後天皇陛下として初めて沖繩をご訪問され、皇太子時代に五回、天皇にご即位されて六回、計十一回に及びます。

平成五年の全国植樹祭には天皇陛下として戦後初めて沖繩をご訪問されました。植樹祭に先立ち糸満市摩文仁の沖繩戦没者

墓苑をご参拝になり続いて平和祈念堂で遺族代表百五十人を前に陛下がお言葉を述べられました。その後、前列に並んだ代表十名一人ひとりに労いのお声をかけられました。私もその中の一人で、県遺族連合会の青壮年部長としてお会い致しました。

私は沖繩戦で父、祖母、姉、弟、妹の家族五人を亡くしています。母は激しい戦禍の中生き残った兄、弟、私を必死に守ってくれました。

陛下から「お父様を亡くされたのですね。大変でしたね。ご苦労なさいましたね。」と慈しみと思い遣りのお言葉をかけて下さいました。お言葉をいただいたとき、私は二十年前に亡くなった母のことが思い出されて涙がこぼれました。苦労した母の存命中にお言葉をかけてほしかった。

た。そのため複雑な気持ちになったのです。

両陛下は、国内で唯一地上戦のあった沖繩への思いは深く、ご訪問される度戦没者を慰霊して下さり特に私達遺族に対し常に御心を寄せて下さいました。戦争で犠牲になった御霊の皆さんもきっと満足下さっているのではないのでしょうか。

また、平成二十四年の豊かな海づくり大会の時には、私は県遺族連合会の会長として両陛下をお迎え致しました。その日はすごい雨で県庁の職員の説明では「今日はお声掛けはありません。」ということでしたが、雨の中でもお声掛けがございました。

お迎えした時、まず自己紹介をするように県から説明されておりましたので一歩前に出て「沖繩県遺族連合会会長の照屋と申します。実は青壮年部長時代にもお声をかけていただきました。ありがとうございます。」と申し上げたら、天皇陛下は領かれ隣にいらっしやうした皇后陛下に一言、二言何かおっしゃられて

いました。そうしましたら、皇后陛下が「お名前は何でしたか」とおっしゃられたので「苗子と申します。」と申し上げたら「はい、分かりますよ」とおっしゃられました。その時は本当にびっくりしました。そして陛下は「遺族の皆さんもお年を召していると思うので、よろしくね。」とおっしゃられました。

最後のご訪問となった平成三十年三月二十七日にも両陛下をお迎え申し上げました。

その時は、陛下より「今まで遺族会活動を頑張ってこられたね。」と労いいただき、皇后陛下からは「お母様はお元氣ですか」とお尋ねになりましたが、亡くなりましたとは言えず黙っていると「お母様によろしくお伝え下さい」とおっしゃられました。

これまで両陛下にお会いするたびごとに、お二人が本当に平和を望んでおられると強く感じ入りました。その両陛下のお言葉が励みとなって、私は現在遺族会と沖繩県護国神社の役員として活動を続けております。



### 宮司挨拶

沖繩県護国神社 宮司 加治 順人

三月下旬から七月初旬にかけて、主に沖繩戦での戦没者を慰霊する「永代慰霊命日祭」がほぼ毎日行われております。

この慰霊祭はご遺族の方からのお申し出により斎行しておりますが、一柱宛御祭神名を奏上し御奉仕させていただいております。その中には、特攻で戦没した御英霊も含まれております。特攻隊といえば海軍の神風特攻隊に代表されます陸海軍による航空特攻が有名ですが、沖繩戦では様々な特攻が行われました。戦艦大和を旗艦とする第二艦隊は、沖繩へと出撃しましたが、昭和二十年四月七日坊ノ岬沖にて米軍機の攻撃により約三千名が戦死しました。他にも「マルレ」、「震洋」と呼ばれるモーターボート状の船体に爆雷を積み込んでの特攻、港から敵の船

み込んでの特攻、港から敵の船

船目指して潜航する特殊潜航艇による特攻など、海上、海中からの特攻がありました。

また、戦地では、手作り爆雷を抱き敵戦車へと飛び込む特攻、銃剣一つで敵陣へと切り込む特攻など、「必死」の戦いが繰り広げられました。

それらの特攻戦没者をお祀りしようと、財団法人特攻隊戦没者慰霊顕彰会により、「あゝ特攻勇士之像」が去年四月に境内へ建立されました。この像は、鹿児島県より始まり、各県の護国神社に建立され、沖繩は十五県目となります。

勇士之像に祀られるのは、その県出身の特攻戦没者ですが、沖繩の勇士之像は、碑文にありますように「沖繩を護るため、航空機による空の特攻、戦艦や特殊潜航艇による海の特攻、爆

雷を用いての陸の特攻で散華されたすべての特攻戦没者、並びに戦地に赴き特攻にて散華された沖繩県出身の戦没者」で、県出身の特攻戦没者の他に沖繩戦での特攻戦没者すべてを祀っています。

先の大戦では、フィリピンで初めて航空特攻が行われ、他に海中、海上での特攻作戦が実行されましたが、大戦末期は沖繩戦での特攻が主でした。

しかし、沖繩へ向かっていった特攻機はほとんどが被弾し途中で不時着が撃墜、艦船は撃沈され沖繩へ辿り着くことができませんでした。沖繩へと向かっていった特攻隊員や乗組員の想いは如何ばかりだったことでしょうか。また何を想って死地へと赴いていったのでしょうか。

吉田満の小説「戦艦大和の最後」に、航行中早咲きの内地の桜を隊員たちは見て涙した、という件があります。当時の隊員たちがどのような想いで見ていったのでしょうか。今を生きる我々には「その想

い」には到底至ることはできませんが、内地の桜花に故郷、肉親に想いをはせ「平和な世」が訪れることを願って戦地へと赴いていったのではないのでしょうか。平成の世が間もなく終わり、新しい御代「令和」を迎えます。今上陛下の御誕生日に「平成が戦争のない時代として終わろうとしていることに、心から安堵しています。」とのお言葉を拝戴致しました。

平和な世に成り、和を令時代にすることを祈ってやみません。第二艦隊司令長官伊藤整一大将、その御子息で、沖繩特攻で戦死した伊藤勲中尉を顕彰する「大和さくらの会」より御奉納頂きました「父子桜」が沖繩の地で四月七日見事に咲きました。





# 例大祭 慰霊祭 みたま祭り



## 第六十回春季例大祭並びに 天皇皇后両陛下下幣饗料 御下賜奉告祭

昨年三月二十七日から二十九日、天皇皇后両陛下に於かれましては沖繩県に行幸啓遊ばされました。その際当神社に幣饗料を御下賜賜り四月二十三日、第六十回春季例大祭に合わせ天皇皇后両陛下下幣饗料御下賜奉告祭が斎行されました。

黙祷、国歌斉唱、修祓斎主一拜と続き奏楽の流れるなか御扉が開かれ献饗に続き御下賜の幣饗料をご神前へ奉献しました。祝詞奏上に続き大祭委員長、県遺族連合会会長による祭文が奏上されました。  
巫女による「みたま慰めの舞」が奉奏され、航空自衛隊那覇基地

地太鼓部「鼓風」による和太鼓の演奏も奉納されました。  
また祭典前には、裏千家淡交会沖繩支部のご呈茶、恒例の「田場盛信民謡ショー」でお楽しみ頂きました。

## 沖繩全戦没者慰霊祭

六月二十三日、沖繩全戦没者慰霊祭が斎行されました。  
正午と共に黙祷を捧げ国歌斉唱、祝詞奏上に続き巫女による「みたま慰めの舞」が奉奏されました。祭典奏楽に航空自衛隊南西航空音楽隊にご奉仕いただき「涙そうそう」の奉納演奏も賜りました。慰



## 終戦記念日みたま祭り

七十三回目の終戦記念日を迎え正午より、みたま祭りが英霊にこたえる会沖繩県本部共催、沖繩県遺族連合会、日本会議沖繩県本部後援にて斎行されました。

陸上自衛隊第十五音楽隊の演奏に合わせ正午に黙祷を捧げ、続いて参列者と共に全国戦没者追悼式(日本武道館於)にご臨席されておられる天皇陛下の御言葉ラジオから拝聴申し上げました。国歌斉唱、祝詞奏上に続き英霊にこたえる会沖繩県本部照屋副会長が祭文を奏上しました。その後巫女による「みたま慰めの舞」が奉奏され、陸上自衛隊第十五音楽隊クラリネット五重奏で「浜辺の歌」など二曲奉納演奏を頂き厳粛にご斎行申し上げました。

祭典後二部の記念講演会では「沖繩と特攻への我が想い」と題し特攻戦没者慰霊顕彰会理事長藤田幸生氏によるご講演を頂きました。  
藤田理事長は海上幕僚長として任務されたご経験もあり、そ



霊電報をご奉告し、閉会の辞を当神社会長外間盛善が申し述べ滞りなく齋了致しました。祭典前には鉢嶺元治氏による唱歌が奉納され「日の丸の旗」「ふるさと」など懐かしい歌声が拝殿に響き渡りました。

また、恒例となっている「第八回島守・防人に感謝する集い」が祭典終了後社務所大会議室にて行われました。記念講演に波上宮禰宜大山晋吾氏による講演があり、続いて拝殿にて「沖繩殉国学徒顕彰 七三年祭」が宮司斎主のもと斎行されました。

の貴重なお話を伺うことが出来ました。講演後は質疑応答も行われ、参加者は終始興味深く聞き入っていました。

## 第六十回記念秋季例大祭

十月二十三日第六十回記念秋季例大祭が斎行されました。沖繩戦にて戦災した境内に、再び戦没者を祀ろうとの声が高まり昭和三十四年仮社殿が建立されました。同年第一回の秋季例大祭が靖國神社池田良八権宮司斎主のもと斎行されてより、この度第六十回目を迎えました。

祭典では、ご英霊に黙祷を捧げ「君が代」を斉唱、祝詞奏上に続き大祭委員長外間会長、県遺族連合会宮城会長がそれぞれ祭文を奏上しました。また、M



○A山月光輪花による献華、無外流明思会代表 岩品銃峰様による居合が奉納されました。みたま慰めの舞が奉奏され、玉串拝礼、各方面から寄せられた祭電を奉告申し上げました。最後に大祭委員長よりお礼の言葉を申し述べました。祭典前には田場盛信民謡ショー、陸上自衛隊第十五音楽隊による奉納演奏を賜りました。こうして記念すべき第六十回目の例大祭は滞りなく盛会のうちに終えました。



20日 大分県遺族連合会正式参拝

20日 富山県南方戦没者沖繩慰霊塔奉賛会

19日 静岡県遺族会正式参拝

19日 静霊奉賛会正式参拝

19日 静岡の塔慰霊祭参拝

19日 茨城県遺族連合会正式参拝

19日 新潟の塔慰霊祭参拝

19日 高知県遺族会正式参拝

19日 土佐の塔慰霊祭奉仕、参列

22日 大分の塔慰霊祭奉仕

23日 新嘗祭

23日 末吉宮例大祭参列

23日 埼玉県遺族連合会正式参拝

24日 神奈川県遺族会正式参拝

25日 愛媛の塔慰霊祭参列

26日 愛媛県遺族会正式参拝

26日 福岡県遺族会正式参拝

27日 福島県遺族会正式参拝

28日 ふくしまの塔慰霊祭奉仕

12月

1日 兵庫県遺族会正式参拝

5日 九州地区護國神社宮司会開催

23日 天長祭

26日 神符守札清祓い並びに助勤者安全祈願祭

31日 大祓式・除夜祭

1日 歳旦祭

3日 元始祭

2月

2日 那覇遺族会正式参拝

3日 節分祭

6日 長野県遺族会正式参拝

8日 日本和裁士会沖繩県本部 針祭

11日 紀元祭

11日 皇學館大学教授 新田均様正式参拝

13日 JYMA日本青年遺骨取集団正式参拝

17日 折年祭

18日 山形の塔慰霊祭正式参拝

18日 山形の塔慰霊祭参列

18日 なにわの塔慰霊祭参列

19日 全国護國神社会青壮年神職研修会・神社本廳直轄研修会事務局 対策研修会出席

19日 神道政治連盟三重県本部正式参拝

20日 神道政治連盟大阪府本部正式参拝

22日 修養団沖繩がじまる

3月

3日 茶道裏千家淡交会沖繩支部正式参拝

4日 南風原町遺族会正式参拝

7日 全国護國神社会宮司 会出席

7日 那覇市文化協会茶道部正式参拝

10日 靖國神社福宜落合雅義様正式参拝

11日 創建九十周年記念事業 第三回社造営委員会

13日 神奈川県神社連正式参拝

18日 沖繩京都の塔奉賛会正式参拝

21日 春季皇靈殿遷拜式

28日 責任役員会

29、31日 沖繩県神社連主催お伊勢さん初参り参加

31日 小禄地域振興会えんむすび祈願



皇紀2679年  
平成三十一年己亥正月



平成最後の正月は三が日晴天に恵まれ24万人の初詣参拝者が訪れました。午前0時報鼓が鳴り響き宮司以下神職全員により歳旦祭をご斎行申し上げました。社頭では元日の朝、鏡割りが行われ参拝者に神酒が振る舞われました。神楽殿ではラジオの公開生放送がカウントダウンと同時に始まり明け方まで放送されました。三が日は「めで鯛福引き」も行われ、13日には県遺族連合会との共催による「新春もちつき」もあり参拝者に振るまわれました。

# 社務日誌抄

平成30年4月〜平成31年3月

4月

4日 修養団捧誠会

4日 木島正孝正式参拝

17日 香川県遺族連合会正式参拝

22日 宵宮祭

23日 第六十回春季例大祭並びに天皇皇后両陛下幣饌料御下賜奉告祭

23日 あく特攻勇士の像 除幕式並びに慰霊祭

25日 大阪府遺族連合会正式参拝

29日 昭和祭

5月

4日 麗泉書道教室正式参拝

4日 生天光神明宮例祭参列

5日 滋賀県遺族会正式参拝

14日 沖繩県祖國復興記念祭

17日 波上宮例大祭参列

19日 那覇遺族会 正式参拝

19日 天久宮例大祭参列

27日 小禄地域振興会縁結び祈願

6月

3日 金城翔山書道教室正式参拝

9日 皇太子同妃両殿下御結婚満二五年奉祝祭

10日 姫路護國神社前川英明様正式参拝

13日 海軍司令部塚跡慰霊祭参列

21日 阿合宗沖繩戦没者慰霊祭奉仕

22日 勇魂の碑慰霊祭奉仕

22日 埼玉県遺族連合会正式参拝

23日 沖繩全戦没者慰霊祭

23日 島守・防人に感謝する集い・殉国沖繩学徒顕彰七三年祭

25日 平成三十年度第一回責任役員会

30日 夏越の厄祓祈願祭並びに水無月大祓式

30日 小笠原流煎茶道正式参拝

7月

8日 茶道裏千家淡交会沖繩支部正式参拝

15日 小禄地域振興会縁結び祈願

19日 しづたまの碑慰霊祭

19日 英靈にこたえる会沖繩県本部総会

23日 小笠原流煎茶道正式参拝

30日 並びに水無月大祓式

30日 夏越の厄祓祈願祭

25日 平成三十年度第一回責任役員会

23日 島守・防人に感謝する集い・殉国沖繩学徒顕彰七三年祭

23日 沖繩全戦没者慰霊祭

23日 島守・防人に感謝する集い・殉国沖繩学徒顕彰七三年祭

25日 平成三十年度第一回責任役員会

25日 夏越の厄祓祈願祭並びに水無月大祓式

30日 小笠原流煎茶道正式参拝

8月

8日 第十一回総代会

15日 終戦記念日みたまま祭り

15日 幸福実現党慰霊祭

17日 群馬県遺族の会正式参拝

19日 麗泉書道教室正式参拝

22日 小桜の塔慰霊祭参列

9月

1日 煎茶道小笠原流沖繩支部正式参拝

4日 岡山県神道青年協議会正式参拝

7日 沖繩県神社連祭式教養研修会参加

9日 小禄地域振興会縁結び祈願

10日 創建九十周年記念事業 第一回社造営委員会

15日 識名宮例大祭参列、奉仕

23日 秋祭皇靈殿遷拜式

27日 大和さくららの会正式参拝

30日 小笠原流煎茶道沖繩総支部正式参拝

10月

1日 念法真教総本山山金剛寺正式参拝

2日 神宮大麻暦頒布始奉告祭参列、奉仕

14日 表千家同門会正式参拝

11月

1日 前田高地平和の碑慰霊祭奉仕

3日 明治祭遷拜式

4日 因伯の塔慰霊祭奉仕

5日 山口県遺族連盟正式参拝

6日 防長英霊の塔慰霊祭参列

8日 沖繩甲斐の塔慰霊巡拝団正式参拝

8日 出雲大社正式参拝

9日 長崎県戦没者慰霊奉

16日 創建九十周年記念事業 第二回社造営委員会

17日 神嘗祭遷拜式

17日 波上宮秋大祭参列

19日 群馬の塔慰霊祭参列

19日 浮島神社例大祭参列

20日 群馬県遺族の会正式参拝

20日 沖繩神社例祭参列

20日 修養団捧誠会神石四十年祭

21日 第六十回記念秋季例大祭

22日 日本遺族会正式参拝

24日 東京都遺族連合会正式参拝

25日 沖繩県煎茶道協会正式参拝

27日 沖繩県煎茶道協会正式参拝

27日 念法真教慰霊法要参列

28日 安里八幡宮例大祭参列

10日 贊会正式参拝

10日 長崎県連合遺族会正式参拝

10日 長崎の碑慰霊祭参列

10日 佐賀県遺族会正式参拝

10日 住吉神社例大祭奉仕

10日 世持神社例大祭参列

10日 全九州皇居勤労奉仕

10日 沖繩支部実行委員会正式参拝

11日 青森県遺族連合会正式参拝

11日 参拝

11日 みちのくの塔慰霊祭参列

11日 小禄地域振興会縁結び祈願

13日 さとうきび畑に天を仰ぐ旅正式参拝

13日 徳島県沖繩慰霊参拝団正式参拝

13日 岡山県遺族連盟正式参拝

13日 岡山の塔慰霊祭参列

13日 徳島県沖繩慰霊参拝団正式参拝

13日 徳島県沖繩慰霊参拝団正式参拝

13日 徳島県沖繩慰霊参拝団正式参拝

15日 千葉県遺族会正式参拝

15日 岐阜県遺族会正式参拝

17日 北海道連合遺族会正式参拝

17日 奈良県遺族会正式参拝

17日 ひむかしの塔追悼式

17日 宮崎県参拝団正式参拝

17日 宮崎県遺族連合会正式参拝

17日 ひむかしの塔慰霊祭参列

18日 新潟県護國神社宮司 齋藤伸雄様正式参拝

18日 新潟の塔奉賛会正式参拝

19日 新潟の塔奉賛会正式参拝



# 正月献灯 奉納者ご芳名

(掲揚名・順不同・敬称略)

高良幸栄・高良幸司・高良勇介・高良陽平・オロク商会  
(株)・(株) まっけん設計  
(株) スタークラウン代表取締役  
与那嶺 巨・豊見城地区交通安全協会・久保田産業  
久保田照子チャームスクール・真幸組(株)・SKG(株)・久米建設(株)・(株) りゅうとう  
(株) 大上建設(株) 大成美建興業(有) 沖セレモニー社・三協電気工事(株)・(株) ツハ設備(株) 真宣組・グリーン産商(株)・(株) ゼーゲン・カンパニー・オーシロ電化 オーシロマンゴー園  
(有) たけ事務・沖繩シャリーング(株)・(株) アースティック那覇(社) 南風原はなその保育園(株) 名城・比嘉良雄  
(株) 沖繩ポイラエンジニアリング(株) えんむすびハウジング(株) 匠宮(株) シンテッ

ク(株) 鏡原組(有) 照電社代表取締役崎山幸照・豊見城市遺族会(株) 昌樹鉄筋工業・ファミリークリニック 小禄・具志堅グループ 琉鵬会 会長 嘉手苅義興(株) 沖繩計装・那覇空港ゴルフ練習場(株)・(株) 企画T(有) 大松・ホテルゆがふいんおきなわ・沖繩製本(株)・(株) ホクガン(株) 縁えにし・沖繩ツリースト(株)・有 西紀・前原良一・まち子(株) 屋部土建・オリオンビル(株)・沖繩県護国神社責任役員高江洲守・シンパホールディングス(株)・(有) フォートブラス(株)・(株) 伊禮産業(株) 伊禮石油・國和設備工業(株)・(株) ASAKA(株) ジャスマンソフト(株) 琉信ハウジング(株) リウデン・自主憲法制定沖繩県民会議(株) 屋我商会・リュウゴジヤパン(株)・(有) アカリ設計・北谷町まちだクリニック・沖繩ガス(株)・(株) リクルートライフスタイル沖繩(株)

国和システム・國幸興發(株)・auショップ重川(有) 幸寿(株) 阿部・三栄工業(株)・沖繩リビック(株)・(有) 沖繩式典プランニング(株) トラステック奥武山公園運営管理事務所(株) おきぎんリース(株) トランク(株) アニヤデンキ(株) アニヤデンキ・ピカ(有) 新長堂土木・沖繩県隊友会(株) 新建・英靈にこたえる会沖繩県本部(株) 茂水産(株) 剛設備社・フォートプラザ・拓南グループ拓伸会(株) おきぎん・まあさん堂・まあさん堂有志会・足立信一 足立恵美子(一財) 沖繩電気保安協会(有) 蒼竜社(株) アースティック琉球支社(株) 円満企画・ジヨブマネ(株) 東部電気土木・お香の香音(株) 神路社・さかえ労務管理事務所(株) 大八産業(有) 琉球セレモニー(株) 沖城ポンプ・南部物産(株) おきなわワールド・医療法人玉福 空と海とクリニック(株) モリパッ

ケージ(株) エプロ・大鏡建設(株)・(株) 久米島の久米仙(株) 新建宅(有) フォーム設計計画新日本工芸(株) (有) 福岡奉製(株) オカノ・沖繩県傷痍軍人会・沖繩県赤十字献血センター・ヤシマ工業(株)・ヤシマ工業(株) 全衛生協力会・外為ドットコム(二社) 沖繩海友会・沖繩サンゴ(株)・(株) ビジネスランド 湖辺美紀(株) サンクス沖繩(有) 沖繩ニューハウスセンター・大晋建設(株) 沖繩三菱電機販売(株)・(株) うるま印刷(株) 三宝社・街クリーン(株) あすなる司法書士法人(有) エーツーサイン(有) 設計集団 閃・英霊来世(株) かねよし(株) 京和土建(二社) 茶道裏千家淡交会沖繩支部(株) プログレス(株) SUMUKA(有) 西原農園(株) 豊都建設(株) 松村電機製作所 沖繩営業所(株) 松村電機製作所 上原康幸・たけや旗染店・アスク沖繩(株) (有) 匠建・

(株) 沖繩銀行・おにぎり屋えんむすび(有) ONEMORE(株) 財全GROUP(株) 財全ソリューション(株) 財全エステート(株) 財全エネシフト(株) ビジネスアシスト(株) レディースエステート&ビジネス・ソーシャルバンクZAIZEN(株)・KYシステム(株) 沖繩県護国神社総代理座喜味和則(株) ビーンズラボ・表千家同門会沖繩県支部・小禄地域振興会・那覇遺族会・那覇市連合遺族会(有) わかまつどう製菓・八重山遺族会(株) ネオックスワン・OTMグループ沖繩トヨタ自動車(株) (有) エヌケイプランニング(株) 三眞運輸・トーマ産業(株) (株) おきぎんジェーシービー・与那嶺組(株) 学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院(株) 丸忠(同) サノハタ・富士パートナー(株) 富士パートナー税理士法人・具志堅製菓所・大阪吹田市 野崎

孔作(株) 浪速管理・大阪福島区(株) 浪速管理 マンション管理・室戸佐喜浜 佐藤商店(有) 白バラ洋菓子店・おきぎん証券(株) (株) 九電工 沖繩支店・RBCイラジオ(有) 宇根内装・阿含宗沖繩道場・宮城武志・真和志遺族会・沖繩県護国神社総代理座 井政治・知念遺族会(株) 大貴・蓮システムプランニング(株) 富士電機(株) HAI RISTUDIO FARB E・日賀ハツ(株) OPG(同) Imperhawk・Youchi運送(株) 外間重機・鏡原クリーニング店(株) 桃原農園(株) 古波蔵組・楊少文 立津美奈子・立津陸 立津杏樹・修養団捧誠会沖繩県支部(株) 金城組(有) 丸徳ガス産業・大城佐知子 佐奈(株) 八起電設・山城開発(株) 島袋澄春・池原運送・表千家不白流沖繩県支部・裏千家茶道教室 秦宗文・第一総業(株) 中山不動産 相談役中山アサ子(株) FM

うるま・恩納村遺族会(有) 新八土建(株) 北盛建設・照屋五務(株) おきぎんエス・ピー・オー・日本会議沖繩県本部・嘉互業 代表者 名嘉清(有) 丸和産業(株) ルート66・建築工房MILLIER・瑞慶山良祐・瑞慶山和子琉舞道場・骨格調整はーもーにー代表上門信之・富山志織(株) タカミ・金城雄生・篤 宮興業(有) 狩俣組・島興業・屋島興業(株) 松原工業・沖繩偕行会・沖繩県郷友会(株) しげ組(株) ジョイント沖繩(有) ムーブプランニング・琉球ゴーレックス(株) たろう歯科医院・乾太郎・乾礼名・乾華子・乾蘭子・乾夢子(株) 沖繩日立(株) 西建設・孝松電設・沖繩鶏卵販売(株) (株) 国際ビル産業・炭火焼鳥沖繩和顔・食彩ダイニング夢適・沖繩県護国神社責任役員事務所 局長宮里洋子(株) コモドハウス(有) ビーンズ広告社・那覇東急REIホテル・沖繩花卸販売(有) 蘭フラワー・

(株) 富士開発(株) ホテルグランビュー・嘉手納正和菜々・琉球銀行・SYM・TING GROUP(同) (株) あぐりぴあ沖繩・ABC沖繩放送宣伝社(株) マルゼン・ホテルパークスタジアム那覇・正広コーポレーション・沖繩菱電ビルシステム(株) 嘉手納町遺族会・沖繩県護国神社監事宮城篤正(有) 良組(株) 蔦太組・田場 聡・田場 斎 円 葵(株) めいわ総建代表取締役山川和明・比屋根良彦・麻紀 良輝 良風・比屋根良安 恵美子 晴美・新報トラスト(株) 沖繩県護国神社責任役員宮司加治順人・沖繩県護国神社代表役員会長 外間盛善・沖繩県護国神社責任役員副会長照屋苗子(株) 沖繩富士通システムエンジニアリング・内田 伸・小笠原流沖繩総支部 支部長武藤初枝・首里遺族会会長照屋苗子・沖繩県煎茶道協会

ありがとうございました。



# 公益財団法人 特攻隊戦没者慰霊顕彰会 奉納 「あゝ特攻」勇士之像 除幕式並びに慰霊祭



左より飯井様、藤田理事長、白田様、外間会長、宮城会長



沖縄県護国神社に「あゝ特攻」  
勇士之像を奉納して  
理事長 藤田幸生

平成三十年四月二十三日、沖縄の地に念願の「あゝ特攻」勇士之像（以下「特攻像」という）を奉納することができました。平成元年に沖縄勤務経験のある私は、大変嬉しく思います。

（公財）特攻隊戦没者慰霊顕彰会では、全国の都道府県にある五十二箇所の護国神社に、この「特攻像」を奉納する事業を行っております。今回の沖縄の像は、全国で十七番目になります。会としては、できるだけ早く奉納したかったので、今回奉納できたことは、大変な喜びです。お世話して下さった加治宮司様及び建立委員長の外間盛善様始め、建立委員の皆様へ、心から感謝申し上げます。有難うございました。

旧日本陸海軍による特攻作戦の主戦場は、この地沖縄でした。沢山の若者達が、空に海に陸に、自らの命を捧げられました。

各県の護国神社への奉納は、そこ

に祀られているその県出身の特攻隊員に対するものです。しかし、沖縄のこの「特攻像」は、沖縄への航空特攻、海上特攻、海中特攻、空挺特攻、陸上特攻はじめ、沖縄戦でなくなられた県民の方々を含む、全ての人びとの御霊に対する象徴として、奉納させて頂いたという気持ちがあります。光輪には、特攻機の翼、日の丸を模しておりますが、隊員の服装には、全種類の特攻隊の服装の一部を組み込んで、デザインされております。

年間二、三体の像の奉納では、完了まであと何十年かかるかわかりません。しかしそれでも、私達は、この事業を継続していきたいと念願しております。

沖縄の皆様におかれましては、どうかこの「特攻像」を大切にしてください。末永く御祭りして下さい。と、お願いするものであります。

## 空の特攻

大東亜戦争末期、最後の手段として航空機による特攻が行われた。特攻隊員の中には、昭和十九年十二月十六日フィリピンスマラフ島付近で海軍神風特攻隊として戦死した我喜屋元次郎少尉（伊計島出身）ら沖縄県出身者も存在する。

沖縄戦においては、昭和二十年三月二十六日那覇南西洋上にて戦死した陸軍特攻隊の伊舎堂用久中佐（石垣島出身）をはじめ、終戦まで沖縄を護るため海軍一九五七名（九八二機）、陸軍一〇三一名（義烈空挺隊含む八九一機）が特攻で散華した。

## 海の特攻

昭和二十年四月七日戦艦大和を旗艦とする第二艦隊は、海上特攻隊として沖縄を死守すべく出撃したが、坊ノ岬沖にて米軍機の攻撃を受け、約三千名が戦死した。その中には沖縄県出身者三十七名も含まれている。

また、沖縄守備隊として渡嘉敷、阿嘉、慶留間、座間味、北谷、読谷、与那原、那覇、具志頭、糸満、玉城に配備されていた陸軍海上挺進隊「マルレ」、金武、石垣、宮古、小浜に配備されていた海軍「震洋」挺進隊、運天港に配置された特殊潜航艇「蛟竜」は、米軍の砲撃を受けつつも米軍艦艇に対し攻撃を行った。

他にも人間魚雷「回天」は伊号潜水艦に搭載され、昭和二十年三月から沖縄近海に出撃し、多くが艦艇と共に散華した。

## 陸の特攻

首里に司令部を置き、宜野湾、浦添以南に陣地を配備した沖縄守備隊第三十二軍は、昭和二十年四月一日沖縄本島中部西海岸に上陸した米軍と壮絶な戦いを繰り広げた。その際、激戦地となった嘉数高地（現在の宜野湾市嘉数高台公園）や安里五二高地（現在の那覇市おろまち）での戦いでは、手作りの梱包爆雷を抱えた兵士による敵戦車への肉弾特攻が行われた。

また、県内各地の戦場でも鉄血勤皇隊などの沖縄県出身学徒による爆雷特攻が行われ、壮絶な最期を遂げた。

平成三十年四月二十三日

沖縄県護国神社

「あゝ特攻」勇士之像碑文



除幕に引続き慰霊祭が斎行されました。祭典終了後、沖縄県護国神社社務所二階大会議室にて関係者多数出席のもと直会を行いました。最初に特攻隊戦没者慰霊顕彰会理事長藤田幸生様より御挨拶いただき、建立委員長外間盛善により乾杯の御発声。その後加治宮司より特攻御遺族・来賓の紹介が行われ、関係各位の懇親を深めました。

## 沖縄の陸海空自衛隊 代表もご参列

平成三十年四月二十三日午後三時より「あゝ特攻」勇士之像 除幕式並びに慰霊祭が斎行されました。

特攻隊戦没者慰霊顕彰会理事長藤田幸生様、特攻隊戦没者御遺族代表白田智子様、特攻隊員戦友代表として戦友御遺族飯井昌弘様、沖縄県護国神社代表役員（建立委員長）外間盛善、沖縄県遺族連合会会長（建立副委員長）宮城篤正様により除幕が行われ、次に祭電を披露しました。





群馬県富岡市 櫻井 信守  
 宮崎県宮崎市 長友 信教  
 京都府八幡市 齋藤 亮司  
 千葉県八街市 黒木陽一郎  
 奈良県天理市 中野 善史  
 北海道岩見沢市 五十嵐幸造  
 愛知県刈谷市 丹村 要二  
 北海道札幌市 土橋ケエ子  
 北海道十勝郡 松田 博子  
 沖縄県那覇市 与儀 シゲ  
 北海道足寄郡 大竹口重幸  
 岡山県総社市 中村 和永  
 律夫

**賛助会奉納金**  
 琉鵬会  
 沖縄ツーリスト(株)  
 オキコ(株)  
 第一食糧(株)  
 大晋建設(株)  
 たけや旗染店  
 (株)山内産業

**玉串料**(伍千円以上)  
 (株)コーニッシュ(九回)  
 代表取締役 今村 聖三  
 神奈川県逗子市 一戸 弥生  
 福岡県福岡市 前田 万里  
 英霊にこたえる会香川県本部  
 会長 細松 英正  
 普通寺市議会 議長 田中 渉  
 香川県坂出市 綾 宏  
 高知県吾川郡 土居 豊榮  
 沖縄県浦添市 大城 直子  
 福岡県北九州市 茶屋本廣喜  
 沖縄県宮古島市 宮城 博子

國幸興發(株)  
 (有)サキシマリサイクルプラザ  
 沖縄県那覇市 鴨志田竜二  
 東京都練馬区 佐々木真太郎  
 修養団捧誠会総裁  
 修養団捧誠会総裁 出居 徳久  
 修養団捧誠会沖縄県支部  
 広島県福山市 三村 光子  
 奈良県吉野郡 麻田 伸夫  
 小戸神社 宮司 串間 正捷  
 埼玉県桶川市 白田 智子  
 愛媛県護国神社 額田 照彦  
 栃木県護国神社 稲 寿  
 佐賀県護国神社 徳久 俊彦  
 宮城懸護国神社 杉田 秀清  
 静岡懸護国神社 二橋 正彦  
 静岡懸護社 山田 廣敷  
 静岡伊東市 玉堀 敏彦  
 神奈川県横浜市 塩野谷恒也  
 北海道護国神社 田村 豊彦  
 福岡県護国神社 宮司 岡 保夫  
 長崎県護国神社 鹿兒島縣護国神社 野村 浩史  
 沖縄県浦添市 高嶺嘉代子  
 神奈川県横浜市 保崎 芳秋  
 恭子

滋賀県大津市 石黒三映子  
 沖縄県名護市 池田 拓司  
 清香  
 牧志公設市場衣料部  
 沖縄県那覇市 熊谷フサ子  
 和歌山県 西本とよ子  
 愛知県名古屋 大曾根宣和  
 良子  
 埼玉県春日部市 高橋 忠子  
 長野県佐久市 大井 トキ  
 長野県神社 山形縣神社 原 光夫  
 神道政治連盟三重県本部  
 大阪天満宮 寺井 種伯  
 名菅宮司 普明会教団  
 静岡県富士市 小野 日隆  
 牧口八幡社 宮司 佐藤 昭典  
 茨城県護国神社 岡本 貞雄  
 広島経済大学教授 大西 功晃  
 北海道白老郡 山本 頼信  
 北海道白老郡 宮司 山本 頼信  
 沖縄県出店事業協同組合

**御供物**  
 正面幕・樽酒 ジーマ(株)  
 正面幕・樽酒 ジーマ(株)  
 泡盛 (株)ジーマックス  
 鶏卵 久米島の久米仙  
 生花 沖縄鶏卵販売(株)  
 生花 蘭フラワー  
 生花 MOA山月・光輪花  
 写真 フォートプラザ



**両陛下へ紅型掛け軸**  
 昨年の両陛下の沖縄県行幸啓に際し幣饌料を御下賜賜りその御礼に沖縄の紅型を掛け軸に仕立て返礼品として両陛下へ奉呈致しました。作者は、「和びんがた工房」主宰の瑞慶山和子氏(那覇市)で数々の賞も受賞されています。この作品は返礼品の双軸(兄弟)で当社にご奉納いただきました。

**月桃の花(サンニン)のうむい**  
 美しい月桃の花が咲く、そして種になる。つらく悲しい事、そしてうれしいことが、この種の中に込められています。南の方々の思いは、世界を渡る大きな心で、大きき乗っけています。

もち米 沖縄県神道青年会  
 鮮魚 根布谷好則  
 清酒 田村 君枝  
 清酒 稲嶺 賢司  
 清酒 大城田記子  
 新米 安本 肇  
 深見 忠生  
 竹中 聡  
 国旗・正面幕 たけや旗染店  
 折り鶴 女性部  
 岡山県笠岡市遺族連合会  
 瑞慶山 和子  
 友利 龍  
 龍

**寄贈書籍**  
 [海軍特別攻撃隊第5七生隊 森丘哲四郎手記]  
 特攻隊戦没者慰霊顕彰会  
 [留魂(第二巻) 若き航空将校達の死闘]  
 松江護国神社  
 [光の記1.2.3]  
 松葉研究所  
 [昭和(京都霊山護国神社創立百五十年記念誌)]  
 京都霊山護国神社  
 [帝国海軍の航跡]  
 著書 久野 潤  
 著書 有馬光正



6月23日沖縄の慰霊の日に合わせて特別展「伊藤半次の絵手紙と沖縄戦」が6月23日～24日社務所一階に於いて開催されました。これは野戦重砲兵第二三連隊所属の伊藤半次陸軍伍長が戦場から家族にあてた



伊藤半次陸軍伍長

**慰霊の日特別展 (平成30年6月23日～24日)**  
**戦地からの便り～伊藤半次の絵手紙と沖縄戦～**

絵手紙です。その数400通。しかしながら、沖縄に配備されて以降はわずか3通しか家族のもとに届きませんでした。伊藤伍長は福岡県の出身で27才で召集されその後昭和19年10月に満州から沖縄に配属され、昭和20年6月18日、32歳の若さで散華致しました。この展示は伊藤伍長の部隊を中心に絵手紙を通じ沖縄戦の様子を紹介する特別展となりました。絵手紙やパネルなどは伊藤の孫で伊藤博文氏(福岡県在住)がすべてご提供下さりこの特別展が開催されました。



銃をもって警備(梨樹鎮) 昭和17年6月3日

慰問袋に入りたい(梨樹鎮) 昭和17年6月7日

**奉納者御芳名**  
 (社務日誌掲載以外、順不同・敬称略)

永代慰霊命日祭  
 新規申込者 奥原 隆良  
 沖縄県那覇市  
 永代慰霊命日祭御供  
 岐阜県岐阜市 江崎 明美  
 北海道札幌市 北村 孝子  
 北海道札幌市 天野 喜美  
 三重県志摩市 杉木 健  
 沖縄県宜野湾市 當山 盛市  
 神奈川県鎌倉市 関 政子  
 北海道札幌市 桜井 朋子  
 北海道札幌市 岩井川 君子  
 埼玉県浦和市 白田 智子  
 北海道札幌市 櫻田 スミ子  
 北海道函館市 岡部 典子  
 北海道札幌市 伊藤 和子  
 北海道札幌市 高田 長巳  
 福島県喜多方市 田中 昭二  
 沖縄県浦添市 濱松 昭  
 鹿児島県鹿児島市 吉永 恵子  
 岩手県花巻市 瀬川 タエ  
 埼玉県比企郡 福岡 英男  
 愛知県豊橋市 小野 よし子  
 愛知県豊橋市 平野 克己  
 北海道札幌市 北村 孝子  
 北海道札幌市 松尾 雪子  
 北海道札幌市 沼田 栄二  
 宮城県富谷市 菅原 義則  
 岡山県久米郡 布野 芳子  
 沖縄県石垣市 瀬名波長宏  
 北海道亀田郡 岩田 軍一

徳島県阿南市 幸田 純子  
 愛知県一宮市 後藤 修士  
 千葉県佐倉市 米澤 務  
 北海道北見市 十良澤 義治  
 千葉県市川市 松永 修巳  
 利喜子  
 大阪府池田市 島村美哉子  
 大阪府寝屋川市 細田 拓彦  
 北海道北斗市 田島 義勝  
 茨城県取手市 大塚 幸男  
 愛媛県西宇和島市 阿部 俊蔵  
 滋賀県甲賀市 宿谷 長次  
 神奈川県座間市 荒井 安代  
 東京都江戸川区 岡田 昌久  
 愛知県稲沢市 下田 方子  
 群馬県甘楽郡 中村 三郎  
 北海道札幌市 加藤 勤  
 沖縄県那覇市 新垣 信正  
 沖縄県那覇市 与那覇 稔  
 三重県伊勢市 村井 洋子  
 愛知県海部郡 気田 一郎  
 北海道函館市 川口 公昭  
 北海道雨竜郡 木村 初文  
 高知県南国市 島村 寿男  
 宮城県仙台市 吉川 明宏  
 佐賀県小城市 藤島由紀子  
 沖縄県浦添市 濱松 昭  
 群馬県高崎市 江積 栄一  
 群馬県高崎市 早智子  
 群馬県富岡市 江積 節子  
 群馬県富岡市 桜井 勝



### 九州地区護國神社宮司会・職員研修会

平成三十年十二月五日、十二月七日、九州地区護國神社宮司会が沖繩県が当番県となり当神社にて行われました。

九州各県護國神社の宮司又、来賓に全國護國神社會長の塩野谷恒也（北海道護國神社宮司）様、靖國神社宮司山口建史様をお迎えし、初日は当神社にて会議を行いました。「将來の崇敬会のあり方」「憲法改正」についてなど、様々な意見・情報交換がなされました。二日目は海上自衛隊那覇基地の御協力によりP3C哨戒機にて洋上慰靈飛行をしました。快晴に恵まれ慶良間諸島上空を旋回後、多くの特攻機が撃墜された伊平屋島沖洋上から澄み切った海を見下ろし一同目頭を熱くさせしばし黙禱を捧げました。

その後は、海軍壕の見学、陸上自衛隊那覇駐屯地内「鎮守の館」の視察を行いました。最終日は波上宮、普天満宮にて正式参拝し全日程を終了いたしました。

さらに平成三十一年二月二十三

日、二月二十五日には、九州地区護國神社職員研修会が宮司会同様当神社にて行われました。

三日間の日程は一日目に会議を行い各神社の情報交換など話合いました。二日目は毎年沖繩にて遺骨収集を行っているSYDボランティアの会に参加し遺骨収集を行いました。

今回の収集場所は、激戦地であった糸満市真栄平にある南北の塔、第二四師団が陣地として利用し米軍の攻撃を受け師団長が自決したと言われる山雨の塔で行われ、南北の塔では五柱、山雨の塔では推定二柱以上の御遺骨を地上にお迎えることが出来ました。

参加者から「戦後七十四年、未だ収集されずに眠る御遺骨、手榴弾や銃弾を実際に目の当たりにし護國神社に奉仕する職員として貴重な経験になった。今後の奉仕の糧として誠心誠意奉仕していきたい。」などの感想も頂き一同思い篤く心に響く実りある研修となりました。



遺骨収集作業



伊平屋島上空



収集された遺骨



宮司会会議

## 特集

沖繩県護國神社は昭和11年の創建から数え、今年で84年目を迎えます。特集「沖繩県護國神社の歩み」と題し、11回にわたって神社の創建から現在までを紹介していきます。



### 沖繩県護國神社の歩み 第三回 戦中、戦後の荒廃

昭和十五年二月の紀元二千六百年記念事業の筆頭として整備、拡充された当社は、同年七月内務大臣指定護國神社（県が管理、運営する神社）となり、名実ともに県を代表する戦没者を祀る神社となった。

しかし、昭和二十年三月から始まった沖繩戦によってその姿は大きく荒廃することになった。

戦争によってどれ位被害を受けたか当時を記録する資料が殆ど残っていないため、戦前の社司であった長嶺牛清氏が昭和二十八年九月に書いた「護國神社の現在のお姿」を紹介したい。（原文のカタカナを平仮名へ、また句読点を加えた）

護國神社の現在の御姿を拝みたいと思つて明治橋前の第三鳥居をくぐつて一々昔の御姿を心の中で考えながら参進致したが、全く涙なくは拝まれない御姿に変わりはてた現況に、実に感

無量でした。その実況は次の通りです。（以下一部省略）

#### 一、御本殿

御本殿はこの度の戦争で影も形もなく只基礎工事が残っているだけです。

#### 二、祝詞殿、拜殿、神器庫、神饌所等此れ亦基礎工事を残すのみ。

三、御手水舎

給水施設が破損しているのみであとは完全に残っておりません。

#### 四、社務所

完全に残っておりますが、國場幸太郎氏が増改築し住宅に使用しています。

#### 五、御鳥居

第一、第三鳥居は機銃弾のあとがついて居りますが大体無きと云つてもよい位の程度で立派に残っておりますが、島内産の檜の木で出来た第二鳥居が影形もありませんことは全く不思議です。昭和二十一年二月九日明治橋を「トラック」で通りました時は確かに立派に残っていたと記憶して居りますが先日調査にいつてみると其の姿が消

#### 六、燈籠

拜殿前の参道の両側に建立された一對は基礎工事を残すのみ。大燈籠一對のみ無きで残っております。

#### 七、御玉垣

御本殿の北側、後側、南側は全部破壊されて残っておりません。

#### 八、参道

第一鳥居下の階段から拜殿までは完全に残つていますが、第三鳥居から第一鳥居下の階段迄の参道は影も形もありません。

#### 九、社號碑

社號碑は無きで完全に残つて居ります。

以上が昭和二十八年当時の神社の社殿と境内の様子である。長嶺氏の記録では、本殿、拜殿、拜殿前の燈籠は完全に残つていなかったと記載されているが、沖繩戦終結直後に米軍が撮った写真では本殿、拜殿、燈籠はほぼ残っていることから、戦後の混乱によって、前述のように荒廃したと考えられる。

（続く）





神社で  
着付け!

# 手ぶらで七五三参り始めました!



子供の健やかな成長を祈願する七五三。

近頃は写真館で衣装を着て写真を撮ることに主眼が置かれ神社での祈願は…カット?または、料金がかかるので私服でお参りなどなど様々です。そこで!神社で衣装を準備してご祈禱の方には無料で着付けを提供、そのままお祓いを受け、神社で着替えて帰れるということを企画したところ、県内で写真スタ

ジオを営むスタジオチャーリー代表取締役前田初美氏が快くお応え下さいました。前田社長は、すべての子供たちが衣装を着けて、喜んで頂きたいという想いをお持ちでこの企画にご賛同下さり、貸出し用の衣装を無償でご提供下さいました。その甲斐あって例年にも増して沢山のお子様たちで賑わい親御様にも大変ご好評を頂きました。



正月献灯の奉送  
受付期間  
9月~11月15日

## 神社コン 第1号神前挙式

近年の婚活ブームで那覇市内小禄地域振興会による婚活パーティーが5年前から当社社務所ホールにて開催されております。その名も「神社コン」。パーティーの前に参加者は神前にてお祓い受け良縁祈願をお祈りします。そして、このほどカップル成立となった那覇市在住の松元孝太さんと那須華織さんが護国神社の大前にて第1号となる神前挙式を目度く上げました。末永くお幸せに…♡



### 新職員紹介



巫女 金武 由姫

神社での奉仕は非常に興味深く、先輩方のご指導を受けながら新鮮な気持ちで日々過ごしています。真心をもって奉仕させていただきます。よろしくお願ひ致します。

### 編集後記

戦後七十四年、昭和から平成さらに令和の時代へと進みます。「英語はどのように習得されているでしょうか。望まれた世の中になつていのでしょうか。いつまでも安らかに眠り頂ける世の中になりますよう我々も日々祈り捧げたいと思います。

発行 平成三十一年四月  
発行所 沖縄護国神社  
〒900,0016  
沖縄県那覇市奥武山町四四番地  
TEL 098-857-2798  
FAX 098-857-7917  
HP www.okinawa\_sokoku.jp/  
編集担当 前原 万岐  
印刷所 株式会社近代美術